

2018年5月ドミニカ共和国内政、外交、経済定期報告

2018年6月19日

在ドミニカ共和国日本大使館

1 内政

(1) 9日、メディーナ大統領は4名の閣僚交替を行った。右交替により、エステベス環境資源大臣、セルマン文化大臣、ベニテス農務大臣及びサンチェス厚生大臣が新たに就任。

(2) 14日、パレ・ペレス上院議長（与党 PLD 事務局長、メディーナ大統領派）が2020年大統領予備選立候補を表明。

(3) 16日、メディーナ大統領は、下院で可決に至っていない政党法の再審議を行うべく両院協議会の設置を提案。

(4) 22日、メディーナ大統領の政権公約の一つであったサントドミンゴ首都圏ロープウェイが開通。開通式にメディーナ大統領出席。

(5) 28日、アマランテ内務警察大臣（与党 PLD、メディーナ大統領派）が、大臣の辞任及び2020年大統領予備選の立候補を表明。

(6) 30日、メディーナ大統領は2名の閣僚交替を行った。右交替により、ファドゥール内務警察大臣及びサントス労働大臣が新たに就任。

(7) 31日、英誌 The Economist において2020年大統領選の党内予備選挙が広く一般の選挙人名簿（Padron Abierto）に基づき行われることはメディーナ大統領の連続再選にとり極めて重要であるとの記事が掲載。

2 外交

(1) 中台関係

ア 4月30日（中国時間5月1日）、ドミニカ（共）政府は中国との国交樹立を発表。これに伴い台湾とドミニカ（共）は断交。

イ 上記中台承認替え後、多くの政財界要人はメディーナ大統領の決断を評価する旨発言。特に中国人観光客の増加、中国人企業家による投資に対する期待が大きい。

ウ 1日、バルガス外相は、北京で王岐山・中国副主席と国交樹立に係る合意につき会談を実施。

エ 1日、メディーナ大統領は、中台承認替えの見返りとして、中国から30億ドルを越す融資約束があったとする情報を否定。

オ 2日、マルチェナ政府報道官は、今回の承認替えが主権の行使であり、国民の生活向上のためのものであると発言。

カ 2日、傅新蓉中国通商事務所代表は、連日当地関係者と会合を行っており、ガルシア観光大臣及びディアス・スポーツ体育大臣の訪中、孔子学院の開設等が予定されていると発言。

キ 2日, 上院は, ドミニカ・中国友好議連の設置につき承認。

ク 17日, コプリー当地米大臨時代理大使がメディーナ大統領を訪問, 1時間の会談を行った後, ドミニカ(共)の今回の承認替えのやり方及び承認替えの時期につき米国は懸念している旨表明。

ケ 21日, 中国大使館が開設。

コ 23日, 台湾大使館が閉鎖。

サ 25日, ドミニカ(共)政府経済ミッションが中国を訪問, 中国によるプンタカタリーナ石炭火力発電所の49%の株式取得をはじめとする投資の可能性を模索。

(2) バルガス外相の欧州訪問

ア 2日, バルガス外相は, バチカンにてローマ法王を表敬訪問し, 現在ドミニカ(共)が議長国を務めるSICAの第74回外相会合及びイタリアとの外相会合につき報告。

イ 3日, 現在SICA議長国を務めるドミニカ(共)のバルガス外相は, ローマにてアルファノー伊外相の出席を得て, SICAイタリア外相会合を実施。

ウ 4日, バルガス外相はアルファノー伊外相とバイ会談を行い, 二国間の経済交流活性化のための貿易・投資委員会の設置につき話し合った。

エ 5日, バルガス外相は, マリア・アルベルト伊上院議長と会談を行い, 二国間の共通の関心事項につき話し合った。

オ 6日, バルガス外相は, ピエトロ・パロリン・バチカン国務長官と会談を行い, 先般の中国との国交樹立を中心とする国際政治情勢につき話し合った。

カ 7日, バルガス外相は, マドリードにて, 欧州, アジア, アフリカ地域のドミニカ(共)在外公館長会議を行い, 輸出のための市場拡大, 新たな外交同盟の樹立, 各国とドミニカ(共)を結ぶ空路・海路の向上, 投資にオープンなドミニカ(共)のイメージ広報などに関し話し合った。

(3) 対ベネズエラ関係

ア 7日, マドゥーロ・ベネズエラ大統領は来る同国の大統領選挙後に, ドミニカ(共)におけるベネズエラ与野党間対話の再開を野党側に呼びかけると発言。

イ 8日, これに対し, メディーナ大統領は, マドゥーロ・ベネズエラ大統領から上記対話に関する連絡を受けておらず, 自らは同対話に参加する意思もないと発言。

(4) メディーナ大統領のコスタリカ訪問(大統領就任式出席)

8日, メディーナ大統領はコスタリカを訪問, アルバラード・コスタリカ新大統領就任式に出席した後, 同日夕刻に帰国。

(5) バルガス外相の南米訪問

ア 14日, バルガス外相は訪問先のブラジルにてガルヴァオン伯外務事務次官と会談を行い, 観光・ビジネスビザの免除, 政治対話メカニズムの創設, 航空, 貿易・投資協力, 防衛分野での協力, 外交官学校での研修協力の6つの合意に締結。

イ 16日, バルガス外相は訪問先のモンテビデオにてノボア・ウルグアイ外相と会談し,

ワーキンググループの創設，外交官の研修，領事業務に関する情報・経験・文書の共有，共同プロジェクト等に係る外交覚書に署名を行った。

(6) レティシア・スペイン王妃の当国訪問

21日－22日，レティシア・スペイン王妃が当国を訪問，大統領官邸にて，メディーナ大統領及び同夫人と二国間関係に関する会談を行った他，障害者ケアセンター（CAID），モンテプラタ市の低所得者居住区，アスア市のオーガニック・バナナ出荷組合を訪問し，バニ市にて未成年女性代表者らと意見交換を実施。

(7) バルガス外相の米国訪問

ア 23日，バルガス外相はワシントンを訪れ，米 국무省のシャノン政治問題担当国務次官と会談を行った他，OASのアルマグロ事務局長を訪問しユネスコに文化遺産登録されているメレンゲの国際表彰を受けた。

イ 24日，バルガス外相はNYにて駐国連のGRULAC諸国の外交団との昼食会を行い，ドミニカ（共）の2019－2020年国連安保理非常任理事国入りへの支持に謝意を表した。

3 経済

(1) 2日，バルデス中銀総裁が本年第1四半期の経済成長率が6.4%でラ米地域トップクラスであり，今後，自然災害や外的要因がない場合，本年の成長率が7%に上るであろうと発表。

(2) 14日，ドミニカ（共）のLCC「Flycana航空」が発足。本年末から世界の50都市以上への運航を開始。

(3) 21日，中銀は，1月－4月の外国人観光客数が対昨年比で5.6%増加したと発表。

(4) 28日，バルデス中銀総裁が，4月の成長率が前月比7.5%に達し，1月－4月の間の成長率が6.7%を記録，本年の経済成長率が事前予想を超えて好調であると述べた。

(別添1) 経済指標

(了)